

RD-1

魚の体腔液からの total RNA分離

プロトコル

1.5 ml エッペンチューブ

◆ 魚の体腔液:100 µl*1

→ LRT 混合液および 3 µl の 2-ME: 300 µl*²

ボルテックス:30 秒(最大回転数) 軽くスピンダウン

■ SRT : 200 µl

ボルテックス:30秒(最大回転数) 室温で5分間置く

軽くスピンダウン

ボルテックス:30 秒(最大回転数) 軽くスピンダウン



ライセート完成



QuickGene のカートリッジへ全量添加



使用装置の**分離**プロトコル参照 QuickGene-Mini480*3



Total RNA 回収

- *1 凍結と融解が繰り返された場合、 6,800×gで3分間遠心して上清 を採取する。
- *2 LRT 混合液:キャリアー RNA 310 mg を 11.6 ml の LRT に溶 解してください。

*3 本事例は旧機種で取得したデータ も含まれます。 その他QuickGeneシリーズでもこ のブロトコルをご参考頂けます。

■結果

電気泳動図

データなし

Total RNA の収量

データなし

■ タンパク質の混入: A260/280

体腔液の量	A260/280
100 µl	1.6

■ カオトロピック塩の混入: A260/230

データなし

その他

データなし

▋共通プロトコルサンプル

データなし

